

## 2018年度(平成30年度)工業用水道事業の決算見込みの概要

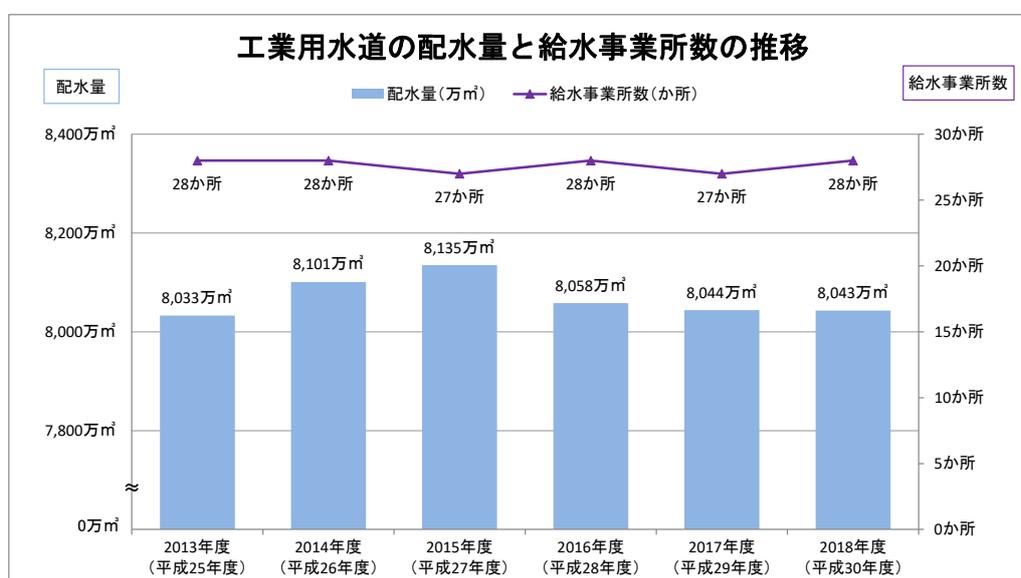
2018年度(平成30年度)工業用水道事業の決算見込みの概要をお知らせします。

### 工業用水道事業

#### 1 業務状況

工業用水道事業の業務状況は、次のとおりです。

事 項	2018年度 (平成30年度)	2017年度 (平成29年度)	増 減
給 水 事 業 所	28 か所	27 か所	1 か所
配 水 量	80,429,903 m <sup>3</sup> /年	80,439,260 m <sup>3</sup> /年	△ 9,357 m <sup>3</sup> /年
一 日 平 均 配 水 量	220,356 m <sup>3</sup> /日	220,382 m <sup>3</sup> /日	△ 26 m <sup>3</sup> /日



## 2 建設改良事業の概況

2018年度(平成30年度)に実施した主な建設改良事業は、次のとおりです。

### ○工業用水道第二期改築事業【8億5,761万円】

配水管布設工事(工二改28-1)

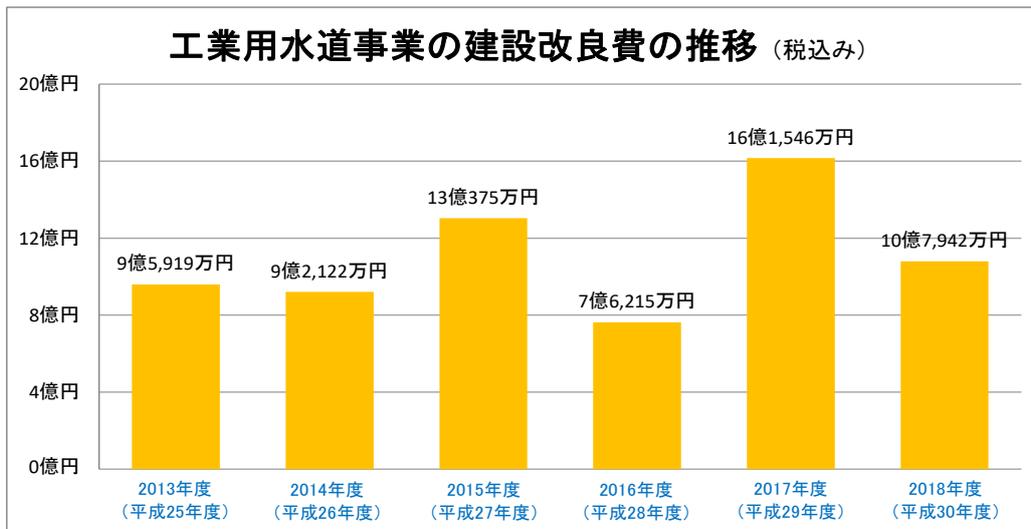
箕島浄水場送水ポンプ吸込管布設工事

中津原浄水場工水1系南沈澱池機械設備取替工事 外

### ○施設改良事業【2億435万円】

中津原浄水場フロキュレータ取替工事

中津原浄水場工水1系南沈澱池機械設備取替工事 外



配水管布設工事



箕島浄水場送水ポンプ吸込管布設工事

### 3 財政状況等

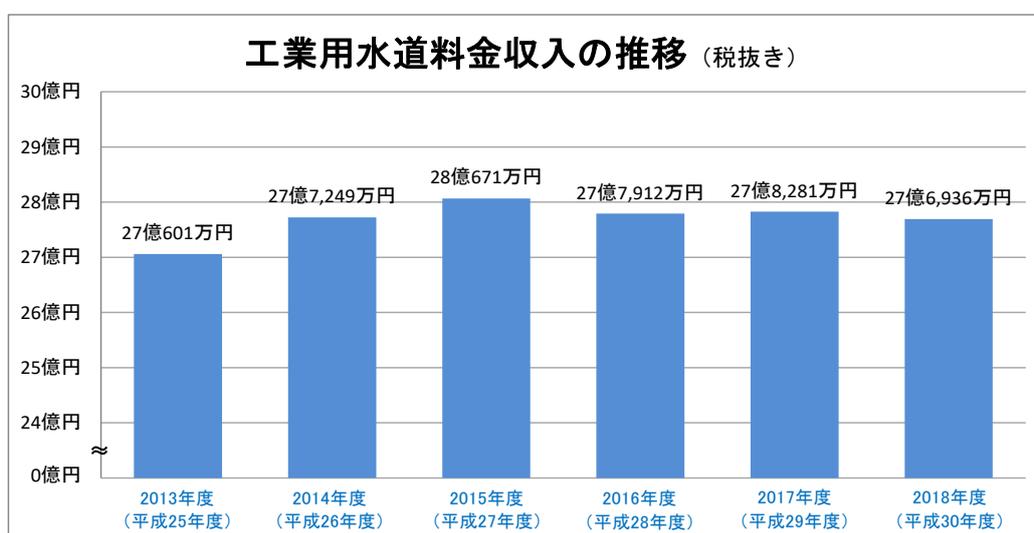
#### (1) 収益的収支(工業用水道料金の収納や工業用水の供給などに伴い発生する収入と支出)

本年度の経営収支状況について、事業収益は、給水収益(工業用水道料金収入)が減少したことなどにより、前年度と比較して2,060万円(0.7%)減の30億3,075万円となりました。

一方、事業費用は、修繕費や支払利息などが減少したものの、委託料や減価償却費などが増加したことにより、前年度と比較して、5,230万円(2.3%)増の22億4,563万円となり、差引7億8,512万円の当年度純利益を計上しました。

(税抜き)

事 項	2018年度 (平成30年度)	2017年度 (平成29年度)	増 減
収 益 的 収 入 (うち、工業用水道料金収入)	30億3,075万円 (27億6,936万円)	30億5,135万円 (27億8,281万円)	△2,060万円 (△1,345万円)
収 益 的 支 出	22億4,563万円	21億9,333万円	5,230万円
差 引	7億8,512万円	8億5,802万円	△7,290万円

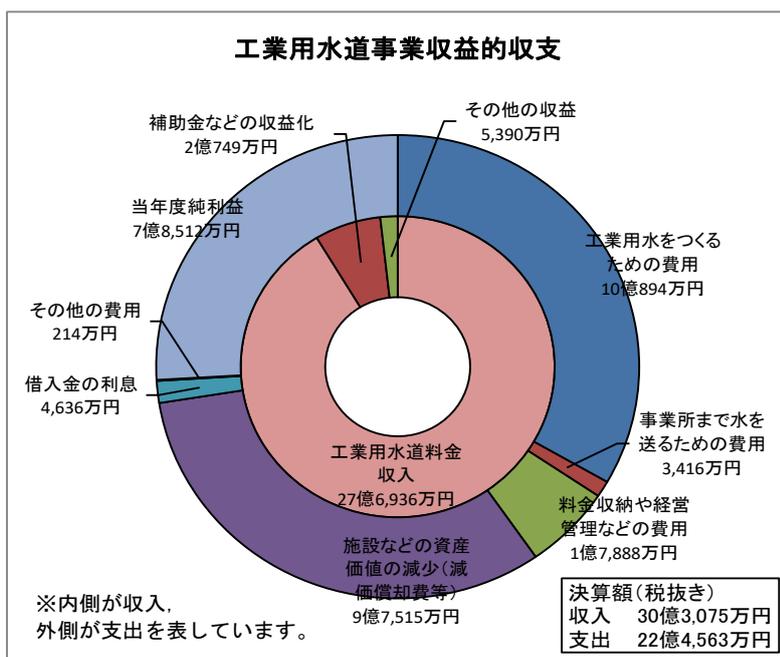


工業用水道事業損益計算書

【2018年(平成30年)4月1日から2019年(平成31年)3月31日まで】

(税抜き)

科 目		決 算 額	円グラフの表示
営業収益	給水収益	27億6,936万円	工業用水道料金収入
	その他営業収益	765万円	その他の収益
営業費用	原水及び浄水費	10億894万円	工業用水をつくるための費用
	配水及び給水費	3,416万円	事業所まで水を送るための費用
	業務及び総係費	1億7,888万円	料金収納や経営管理などの費用
	減価償却費	9億6,790万円	施設などの資産価値の減少
	資産減耗費	725万円	
営 業 利 益		5億7,988万円	
営業外収益	受取利息	672万円	その他の収益
	他会計負担金	380万円	
	長期前受金戻入	2億749万円	補助金などの収益化
	雑収益	3,573万円	その他の収益
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	4,636万円	借入金の利息
	雑支出	214万円	その他の費用
経 常 利 益		7億8,512万円	
当 年 度 純 利 益		7億8,512万円	



(2) 資本的収支(工業用水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出)

資本的収入は、補助金により、1億5,930万円となりました。

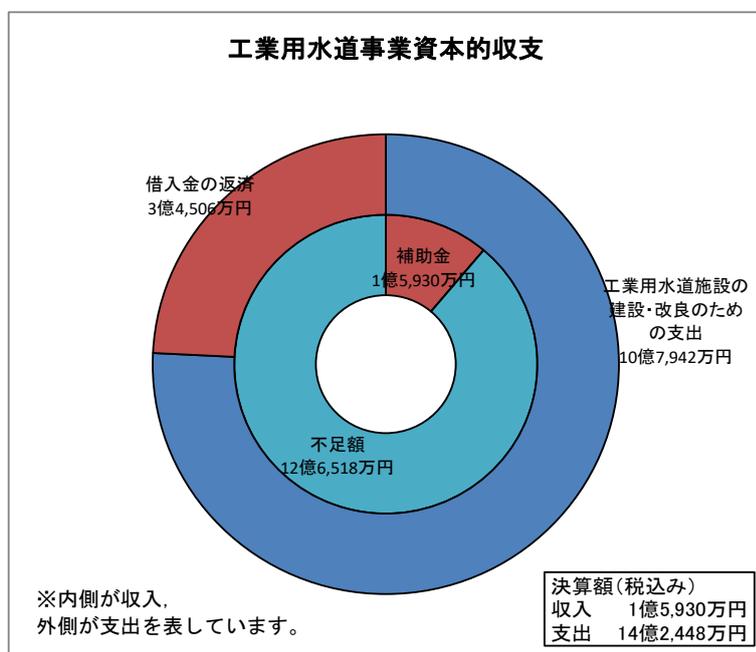
資本的支出は、建設改良費や企業債償還金(借入金の返済金)により、14億2,448万円となりました。

資本的収入が資本的支出に不足する額は、12億6,518万円となり、積立金などで補てんしました。

また、資金残高は前年度と比較して、6億8,541万円増加し、58億4,812万円となりました。

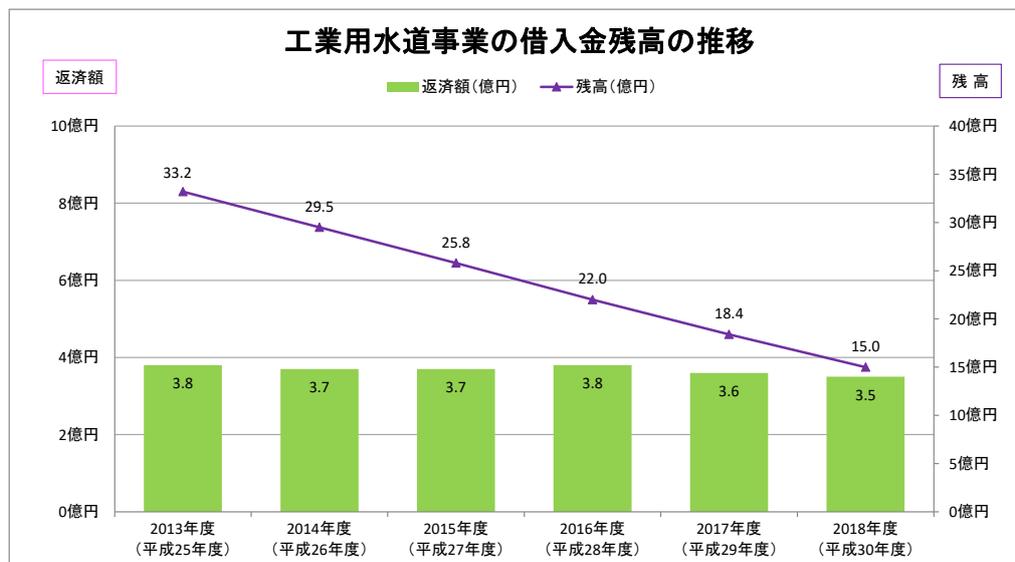
(税込み)

科 目	決 算 額	円 グ ラ フ の 表 示
資本的収入	1億5,930万円	
国庫補助金	1億5,930万円	補助金
資本的支出	14億2,448万円	
建設改良費	10億7,942万円	工業用水道施設の建設・改良のための支出
企業債償還金	3億4,506万円	借入金の返済
差 引	12億6,518万円	不足額



### (3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べて3億4,506万円(23.0%)減少し、14億9,835万円となりました。



※2003年度(平成15年度)以降新規借入はありません。

## (4)貸借対照表

工業用水道事業の財政状態を示す貸借対照表は、次のとおりです。

## 工業用水道事業貸借対照表

【2019年(平成31年)3月31日】

(税抜き)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	194億5,803万円	固定負債	13億9,618万円
有形固定資産	92億5,504万円	企業債	11億8,079万円
無形固定資産	102億129万円	引当金	2億1,539万円
投資その他の資産	170万円	流動負債	5億9,423万円
流動資産	61億2,479万円	企業債	3億1,756万円
現金及び預金	57億2,153万円	未払金	2億6,016万円
未収金	4億159万円	引当金	1,574万円
前払費用	158万円	その他流動負債	77万円
その他流動資産	9万円	繰延収益	41億6,565万円
		長期前受金	41億6,565万円
		資 本 の 部	
		資本金	173億2,270万円
		資本金	173億2,270万円
		剰余金	21億406万円
		資本剰余金	2億6,135万円
		利益剰余金	18億4,271万円
		(うち当年度純利益)	(7億8,512万円)
合 計	255億8,282万円	合 計	255億8,282万円

## (5)キャッシュ・フロー計算書

工業用水道事業の現金・預金の増減を示したキャッシュ・フロー計算書は、次のとおりです。

(税抜き)

項 目	現 金 ・ 預 金 の 増 減
前年度末の現金・預金の残高	55億1,131万円
業務活動によるキャッシュ・フロー (工業用水道料金の収納や工業用水の供給などに伴う現金・預金の収支)	14億9,513万円
投資活動によるキャッシュ・フロー (工業用水道施設の建設・改良などに伴う現金・預金の収支)	△9億3,985万円
財務活動によるキャッシュ・フロー (資金の調達や返済に伴う現金・預金の収支)	△3億4,506万円
当年度末の現金・預金の残高	57億2,153万円